

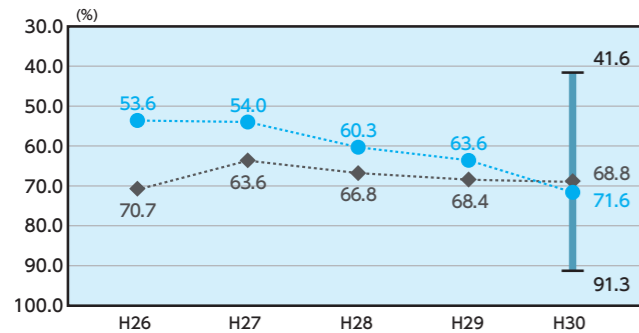
# 歳出比較分析表

平成30年度普通会計決算

## 経常収支比率の分析

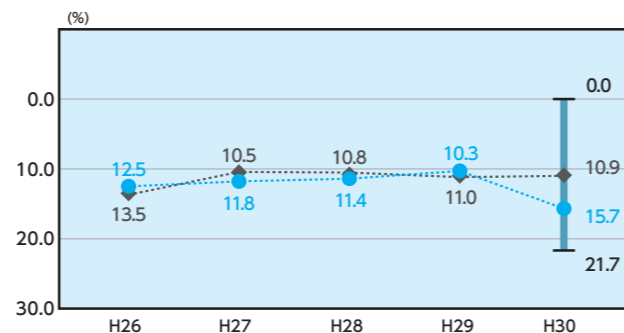
● 広野町の値    ◆ 類似団体内平均値  
 I 類似団体内の最大値および最小値

### 公債費以外



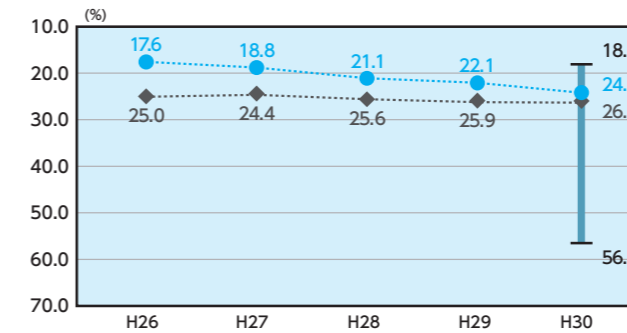
**H30 類似団体内順位 28/64**  
**全国平均 76.4**  
**福島県平均 74.0**

### その他



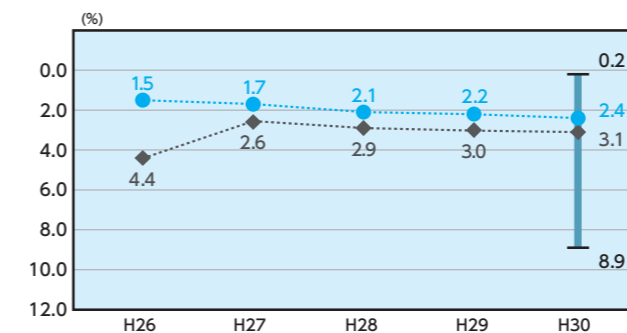
**H30 類似団体内順位 60/64**  
**全国平均 13.3**  
**福島県平均 14.6**

### 人件費



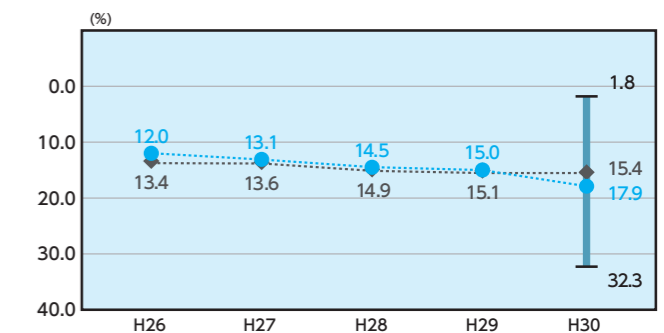
**H30 類似団体内順位 16/64**  
**全国平均 25.6**  
**福島県平均 23.2**

### 扶助費



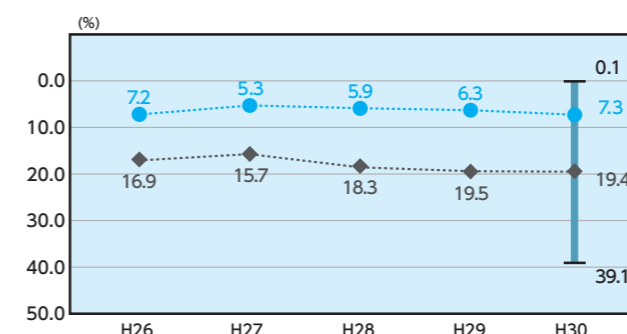
**H30 類似団体内順位 31/64**  
**全国平均 12.6**  
**福島県平均 8.3**

### 物件費



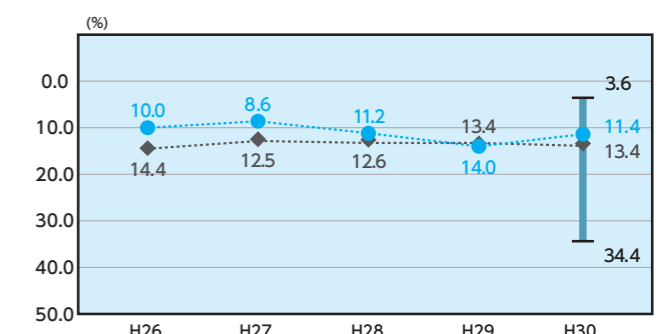
**H30 類似団体内順位 41/64**  
**全国平均 14.7**  
**福島県平均 16.4**

### 公債費



**H30 類似団体内順位 5/64**  
**全国平均 16.6**  
**福島県平均 14.9**

### 補助費など



**H30 類似団体内順位 30/64**  
**全国平均 10.2**  
**福島県平均 11.5**

## 分析欄

#### 人件費

人件費に係る経常収支比率は、職員給の減により経常的な人件費に充当した一般財源は2.8%減少したが、指数の分母となる経常的一般財源収入が11.4%減少したことにより前年度比1.9ポイントの増となっている。今後は、全国から人的支援を受けている状況において職員数を削減することが難しい状況にあること、固定資産税が毎年減少していくことにより比率の増が見込まれるが、給与・手当水準の見直しなどにより比率の増加の抑制に努める。

#### 扶助費

扶助費に係る経常的収支比率は、前年度比0.2ポイント上昇した。

原発事故により医療費個人負担の減免が継続しているために類似団体と比較して低い比率となっているが、今後の経常的一般財源収入の減も併せて比率の上昇が見込まれる。制度の見直しなどを行い、比率の上昇を抑えるように努める。

#### 公債費

公債費に係る経常収支比率については、経常的一般財源収入が減少したことに加え、平成29年度に借入をした認定こども園整備事業債の元金償還開始により、前年度比1.0ポイント上昇した。今後、復旧・復興に向けた様々な事業が展開される中、新規地方債の発行については、事業の重要性を十分に見極めながら慎重に検討し、比率の上昇を極力抑えるように努める。

#### 物件費

物件費に係る経常的収支比率については、経常的一般財源収入が減少したことおよび経常的な委託料などの増加により、前年度比2.9ポイント上昇した。今後、震災後に整

備した施設の維持管理経費の増加により比率の上昇が見込まれるが、行政経費のコスト削減、事務事業の見直し、選別化により経費の削減を図る。

#### 補助費など

補助費などに係る経常収支比率については、経常経費に係る一般財源額が28.2%減少したことにより2.6ポイント低下した。この要因は双葉地方広域市町村圏組合に対する消防費負担金が増加したことによる。今後は、補助金交付に係る明確な基準を設けて、補助金の見直しを図り、比率の上昇を抑えるよう努める。

#### 公債費以外

公債費以外の経常収支比率については、経常的一般財源収入が前年度比で11.4%減少したことに加え、物件費や維持補修費に係る経常的経費が増加したことにより前年度比8.0ポイント上昇した。今後は、税収が毎年減少することに加え、復旧・復興が進むことにより経常収支比率は悪化することが予想される。事業の選別化・効率化による歳出の削減に努めるとともに税収の確保に努め、財政の健全化を図る。

#### その他

その他に係る経常収支比率については、維持補修費のうち町道などの除草事業に係る震災からの復興支援が終了し、経常経費に係る一般財源が大幅に増加したため、5.4ポイント上昇した。国民健康保険、介護保険および後期高齢者医療特別会計への繰出金については、医療費などの増加に伴い比率の上昇が見込まれるため、被保険者に対する健康管理など予防措置の周知・啓蒙を図り、繰出金の抑制に努める。